

## 新潟よつば学園 3年目の挑戦 ～専門性の特化と共有の総合支援学校を目指して～

校長 岡村 浩之

もう教育部門（視覚障害）、ろう教育部門（聴覚障害）、自立教育部門（知的障害）の3部門の子どもが通う総合支援学校として誕生した「新潟よつば学園」は3年目を迎えました。

「せっかく一緒になったんだから」、開校1年目にある職員が発した言葉です。令和4年の開校を目指して5年間校舎の設計建築、教育課程の編成、校名校章校歌の制定等に取り組んできた私にとっては、心強い言葉でした。それぞれの教育部門で実践してきた教育活動は当然継続するものですが、今まで出会わなかった多くの仲間と交流し、卒業後社会の中で自分らしく生きていく力を備えていく事ができる活動も取り入れて実践する学校を目指してきました。1年目は体育祭、文化祭を全校開催し、保護者の方や同窓会の皆様から統合の意味、意義を感じたとの言葉をいただきました。

2年目は、高等部合同の修学旅行を実施したり、各学校行事で同年齢の生徒と一緒に活動したりすることができました。さらに、教科の学習においても他部門の生徒と一緒に学習することが有効である場合は、積極的に同じ空間で学ぶ時間も増えてきました。3年を目途に「せっかく一緒になったんだから」と思わなくても、当たり前のようにできる交流、社会の中で役立つ交流が実践されることを目指して参りましたが、子どもたちの思い願いと教職員の使命感、頑張りで2年で成果を残すことができたと確信しております。

そこで、2年間は職員研修は交流に重きを置いた実践を重ね成果を上げる事ができたので、3年目の学校運営の重点をそれぞれの部門の専門性を高め、得たものを発信することとしました。「発信」を大切にして、新潟県唯一の盲学校、県内2校の聾学校、他障害、異年齢の中で学ぶ知的障害教育校の使命を改めて認識し、総合支援学校として取り組んで参ります。1年間よろしくお願いいたします。